

「横浜市エネルギーアクションプラン」 「みなとみらい2050プロジェクトアクションプラン」 を策定しました

○横浜市エネルギーアクションプラン

横浜市は、370万人160万世帯の市民と11万を超える事業所を抱える国内有数のエネルギーの大消費地です。限りある資源を、将来の世代へ引き継ぐため、エネルギー利用のあり方について考え、行動していく必要があります。

本プランは、横浜市中期4か年計画でも位置づけた「エネルギー循環都市」に向けて、市としてはもちろん、市民・事業者の具体的な行動につなげていくための実践的なアクションプランとして策定しました。

○みなとみらい2050プロジェクト アクションプラン

横浜の都心部を代表する「みなとみらい21地区」では、エネルギーに加えて、グリーンやエコモビリティなど、「環境未来都市・横浜」を代表する環境ショーケースとして位置づけ、これからも先進的なまちづくりを進めるとともに、国内外へその魅力を発信していくため、本プランを策定しました。

※裏面及び別紙を参照

この両プランについて、市民・地域、事業者の皆様と行政が、互いに知恵や工夫を出し合い、連携・協働しながら推進していくことにより、環境未来都市・横浜として、国内外から選ばれる都市を目指します。

～両プラン共に、下記ホームページから入手できます～

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/>



<策定までの経過>

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 12月19日(金) | 素案の公表、市民意見募集の実施(1月30日(金)まで) |
| 3月30日(月) | 公表 |

環境未来都市とは…

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/futurecity/>



お問合せ先

①横浜市エネルギーアクションプランについて

温暖化対策統括本部調整課企画担当課長 澤木 勉 Tel 045-671-2683

②みなとみらい2050プロジェクトアクションプランについて

温暖化対策統括本部環境未来都市推進課長 奥村 誠 Tel 045-671-2477

＜プランの概要＞

①横浜市エネルギーアクションプラン

○横浜市のエネルギー特性（第2章 本市のエネルギーの現状）

- ・市内の最終エネルギー消費量：家庭での利用割合が38%を占め、全国値（22%）より高い。
- ・市施設から生み出すエネルギー：市施設の使用電力の約4割に相当する発電量がある。

○目指す姿（第3章 基本的事項）

市域から生み出すエネルギーを増やし、そのエネルギーを無駄なく効率的に利用する「エネルギー循環都市」の実現に向けて、様々な施策を推進します。

○主な取組（第4章 主要施策）

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| (1) エネルギーマネジメントの展開 | (4) 省エネルギー対策 |
| (2) 再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用 | (5) まちづくりと一体となった取組 |
| (3) 水素の利活用 | |

○もっと知り、もっとやってみる（第5章 市民・事業者の取組促進）

「お財布にもやさしい省エネ」「健康にもいい省エネ」「家庭と会社で省エネ行動」など地域で実践されている取組や、事業者の取組支援に関する情報を、様々な団体と連携し、発信します。

＜プラン素案に対する市民意見募集の実施結果＞

提出者数：51 意見数：170件 *詳細はホームページに掲載

いただいたご意見の例

- ・防災面での視点も大切。
- ・エネルギーの取組が他分野への貢献につながることを伝え、市民等の自主的な取組につなげることが大切。

②みなとみらい2050プロジェクトアクションプラン

○強化すべき4つの分野と主な取組

(1) 安全性・環境性・経済性に優れたエネルギー

- ・既存の都市基盤施設を活用した自立分散型エネルギーインフラ形成

(2) 快適な環境を次世代に継承するグリーン

- ・公開空地等を活用した「まちかどの緑プロジェクト」の実施

(3) 市民の創造性を刺激するまちのアクティビティ

- ・多様な主体によるエリアマネジメント活動の強化

(4) 自由な移動を確保し都市を活性化するエコ・モビリティ

- ・低炭素型次世代交通の実用化



＜まちかどの緑のイメージ＞

○国内外への情報発信

- ・国際会議等を通じた情報交流
- ・情報発信の一元化（フューチャーセンターの整備等）

○今後の展開

アクションプランの実現に向けて、市民・企業等との体制、仕組み等、**スマートなまちづくりの推進に向け、公民連携のもとでチャレンジしていきます。**

＜プラン素案に対する市民意見募集の実施結果＞

提出者数：47 意見数：217件 *詳細はホームページに掲載

いただいたご意見の例

- ・災害時への対応にも配慮した自立分散型エネルギーインフラ形成強化を推進し、マーケットにも評価されるような環境対応や防災性向上を図ってほしい。
- ・様々な人々がひとつになって取り組む体制はよいと思いますが、未来を担う小・中学生からもアイデアを募り、将来に渡って取り組める体制をとってはどうか。